



ブシ 加エブシ
Processed Aconite Root ; ACONITI RADIX PROCESSA

基原

キンポウゲ科 (*Ranunculaceae*) のハナトリカブト *Aconitum carmichaeli* Debeaux または オクトリカブト *Aconitum japonicum* Thunberg の塊根を加工したもの。

附子とは

オクトリカブトは本州北部や北海道南西部に分布する多年草で、北海道など冷涼な地域で栽培される。かつてはアイヌ民族に矢毒として利用されていた。ハナトリカブトは中国に広く分布する多年草で、薬用のほか、切花用としても栽培される。なお、トリカブトという名称は、花の形状が舞楽のときに使用する帽子（烏兜）の形に似ていることから名づけられたとされる。英名の monkshood（修道士のフード）も同様に花の形状に由来する。

両種とも塊根の株分けにより増殖する。塊根は茎を立ち上げる母根と、母根の横に新しく形成される子根からなる。子根を乾燥したものが生薬「附子」である。毒性が強いため、減毒加工（修治）を行う。修治には高圧蒸気処理や塩処理などがあり、これにより毒性の強い aconitine などのアルカロイド類が毒性の低い成分に変化する。



Aconiti Radix Processa



- **主な成分** アルカロイド (benzoylaconine, 14-anisoylaconine, benzoyhyaconine, benzoylmesaconine), 多糖類など
- **主な薬理** 強心作用 (*in vitro*)¹⁾, 鎮痛作用 (ラット, マウス)²⁾³⁾, 血管拡張作用 (ウサギ, カエル)⁴⁾⁵⁾, 体温上昇作用 (イヌ)⁶⁾, 腎機能改善作用 (ラット)⁷⁾
- **性味** 辛・甘, 大熱, 有毒
- **帰経** 心・腎・脾経
- **薬能** 回陽救逆・補火助陽・散寒止痛
- **主治** 亡陽虚脱・四肢の冷え・脈微・心陽不足・胸痺心痛・虚寒による嘔吐下痢・腕腹部の冷痛・腎陽虚衰・陽痿宮冷・陰寒による浮腫・陽虚外感・寒湿による痺痛
- **古典**
 - ☑ **重校薬徴** 水を逐うことを主る。故に悪寒, 腹痛, 厥冷, 失精, 不仁, 身体骨節疼痛, 四肢沈重疼痛を治し, 下利, 小便不利, 胸痺, 癰腫を兼治す。
 - ☑ **古方薬議** 中を温め, 寒を逐ひ, 虚を補ひ, 壅を散じ, 肌骨を堅くし, 厥逆を治し, 百薬の長と為す。